

News Release

令和6年度上半期業績のお知らせ

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山 美彦）の令和6年度上半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）の業績をお知らせいたします。

1. 主要業績

(1) **新契約高** ※詳細は別添資料の1ページをご覧ください。

① 生命総合共済

生命総合共済の新契約高は、件数で45万5千件（前年同期比90.8%）、保障共済金額では1兆2,230億円（同105.5%）となりました。

また、J A共済連が収納した共済掛金は、6,415億円（同177.5%）となりました。

	実績	前年同期比
契約件数	455千件	90.8%
保障共済金額	12,230億円	105.5%
共済掛金	6,415億円	177.5%

② 建物更生共済

建物更生共済の新契約高は、件数で33万7千件（前年同期比91.7%）、保障共済金額では5兆800億円（同94.2%）となりました。

なお、J A共済連が収納した共済掛金は、1,971億円（同90.4%）となりました。

	実績	前年同期比
契約件数	337千件	91.7%
保障共済金額	50,800億円	94.2%
共済掛金	1,971億円	90.4%

③ 自動車共済・自賠償共済

自動車共済の新契約高は、契約件数で401万件（前年同期比99.6%）、J A共済連が収納した共済掛金は1,312億円（同100.4%）となりました。

自賠償共済は、契約台数で156万4千台（同98.2%）、J A共済連が収納した共済掛金は190億円（同98.3%）となりました。

		実績	前年同期比
自動車共済	契約件数	4,010千件	99.6%
	共済掛金	1,312億円	100.4%
自賠償共済	契約台数	1,564千台	98.2%
	共済掛金	190億円	98.3%

(2) 保有契約高 ※詳細は別添資料の1ページをご覧ください。

生命総合共済および建物更生共済合計の保有契約高は、保障共済金額で213兆4,267億円（前年度末比98.3%）となり、前年度末に比べ3兆5,385億円の減少となりました。

	令和5年度末	令和6年度上半期末	前年度末比
生命総合共済	794,382億円	765,917億円	96.4%
建物更生共済	1,375,270億円	1,368,350億円	99.4%
生命・建物更生共済合計	2,169,652億円	2,134,267億円	98.3%

(3) 主要収支状況等 ※詳細は別添資料の2ページおよび5ページをご覧ください。

① 受入共済掛金

受入共済掛金は、生命総合共済の一時払仕組みの伸長により、前年度上半期に比べ1,839億円増加の2兆1,704億円となりました。

② 支払共済金

支払共済金は、能登半島地震にかかる共済金支払いによる事故共済金の増加から、前年度上半期に比べ969億円増加の1兆8,337億円となりました。

③ 正味財産運用益

正味財産運用益（財産運用収益－財産運用費用）は、前年度上半期に比べ664億円減少の2,538億円となりました。

④ 経常利益

経常利益は、前年度上半期に比べ966億円減少し、637億円となりました。

（4）資産の状況 ※詳細は別添資料の2ページおよび4ページをご覧ください。

総資産は、前年度末に比べ4,952億円減少し、57兆9,798億円（前年度末比99.2%）となりました。そのうち運用資産は、前年度末に比べ5,717億円減少し、55兆9,900億円（同99.0%）となりました。

2. 基礎利益 ※詳細は別添資料の3ページをご覧ください。

基礎利益は、事故共済金の増加に伴い危険差損益が減少したことなどから、前年度上半期に比べ241億円減少の2,836億円となりました。

3. 支払余力（ソルベンシー・マージン）比率 ※詳細は別添資料の3ページをご覧ください。

支払余力（ソルベンシー・マージン）比率は、再保険担保額の削減に伴い巨大災害リスク相当額が増加したことなどから、前年度末から35.9ポイント減少の1,043.9%となりました。

※ 本資料における金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しているため、増加および減少額については、別添資料の各数表上の数字で算出した数値と一致しない場合があります。

また、前年比等の比率は、小数点第1位未満を四捨五入して表示しています。

以 上